資料３

第１２回
東京臨海リサイクルパワー株式会社による
微量ＰＣＢ廃棄物処理事業に係る地域環境委員会

平成２８年７月２８日（木）

東京臨海リサイクルパワー株式会社

東京電力フュエル＆パワー株式会社

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

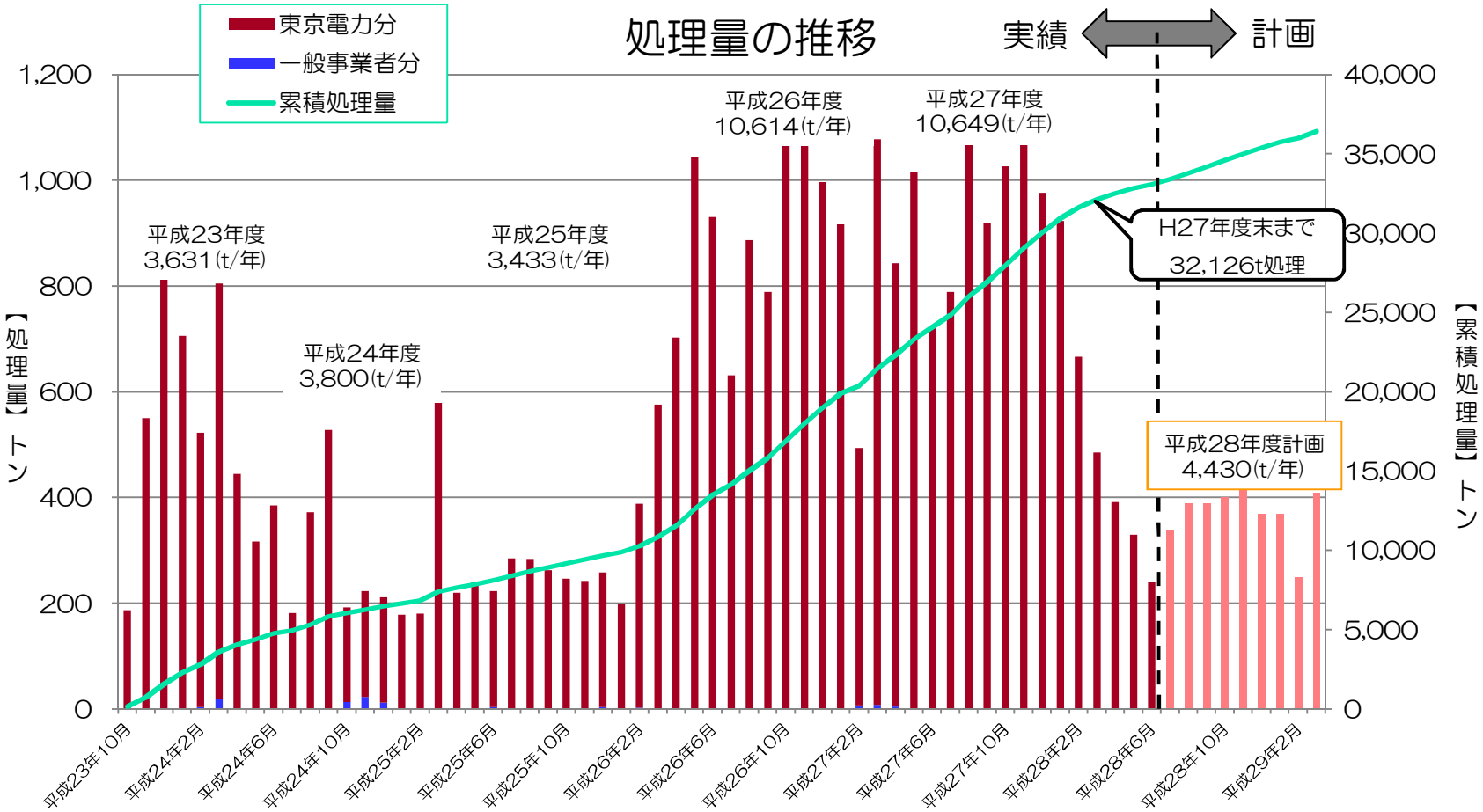
2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

（１）微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理実績と計画

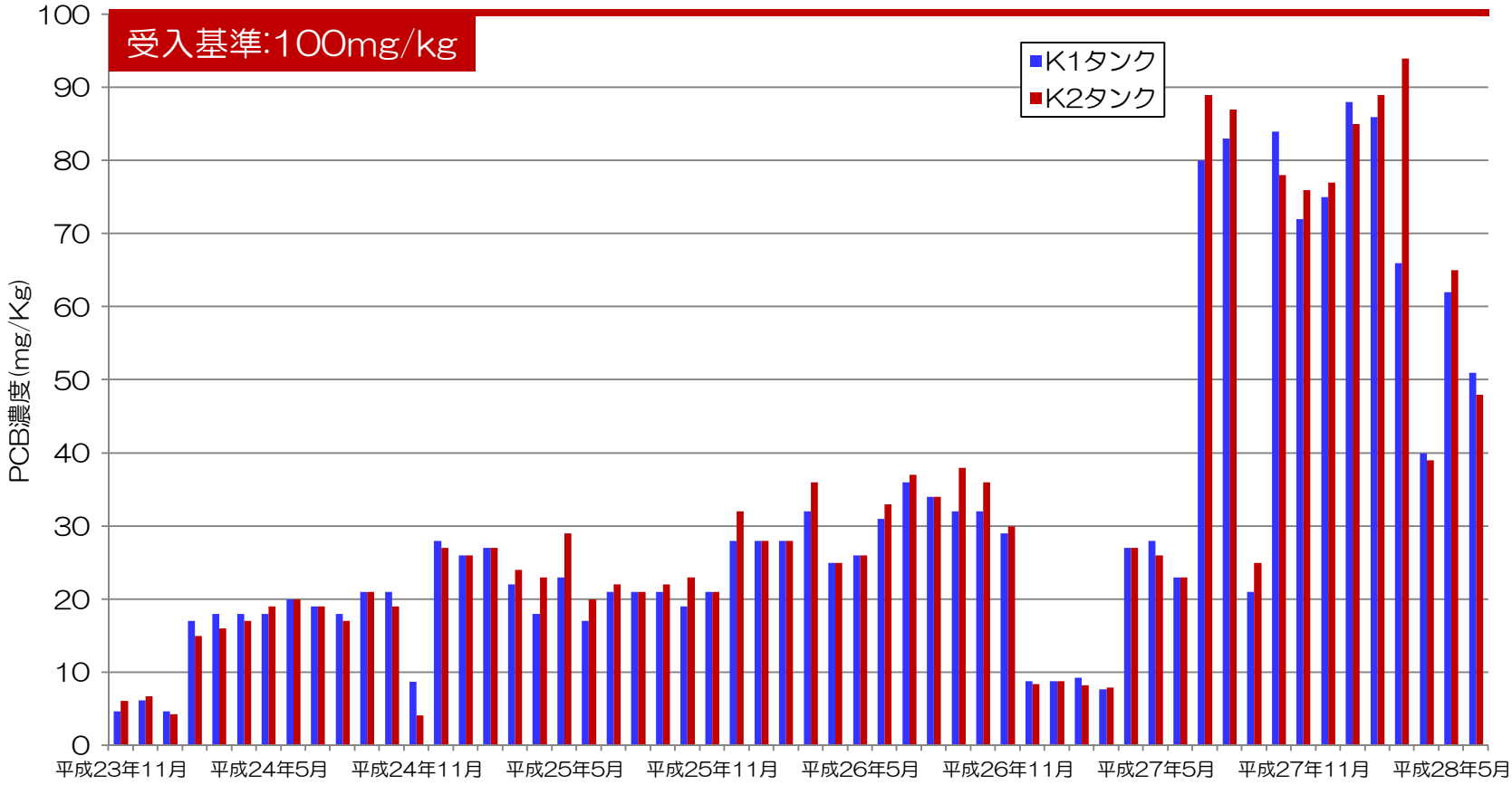
- 微量PCB汚染絶縁油は、確実な処理を継続実施中。
- 平成28年度は4,430t/年で処理予定。



※平成28年6月末日現在

（２）微量ＰＣＢ汚染絶縁油の濃度測定結果

- 微量PCB汚染絶縁油は敷地内の２基（K1、K2）のタンクに受入。
- 定期的（1回/月）に各タンクのPCB濃度を測定、受入基準以下を確認。



※平成28年6月末日現在

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

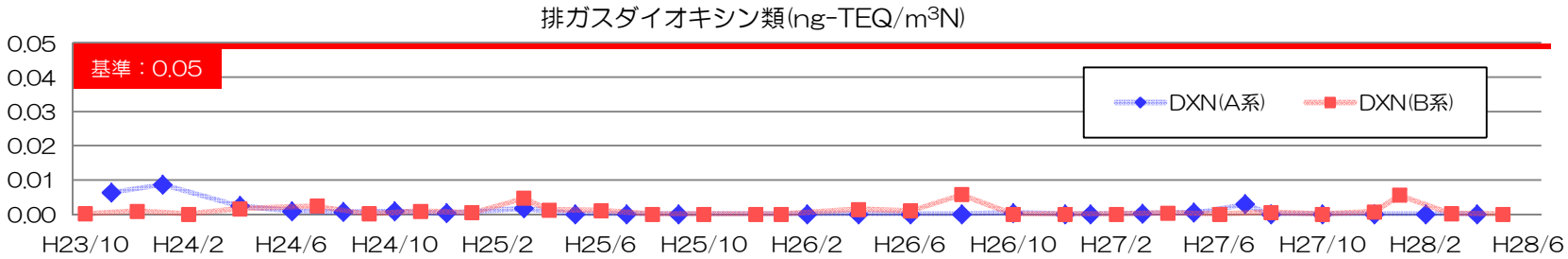
2 環境モニタリング状況

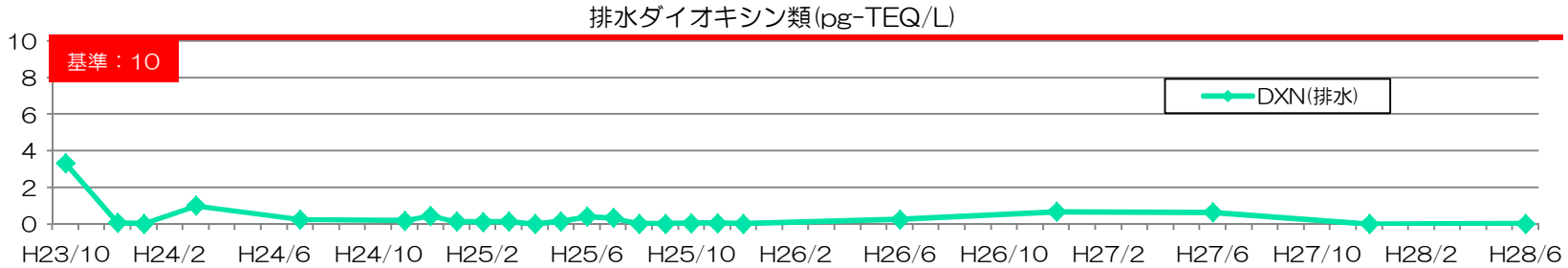
3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

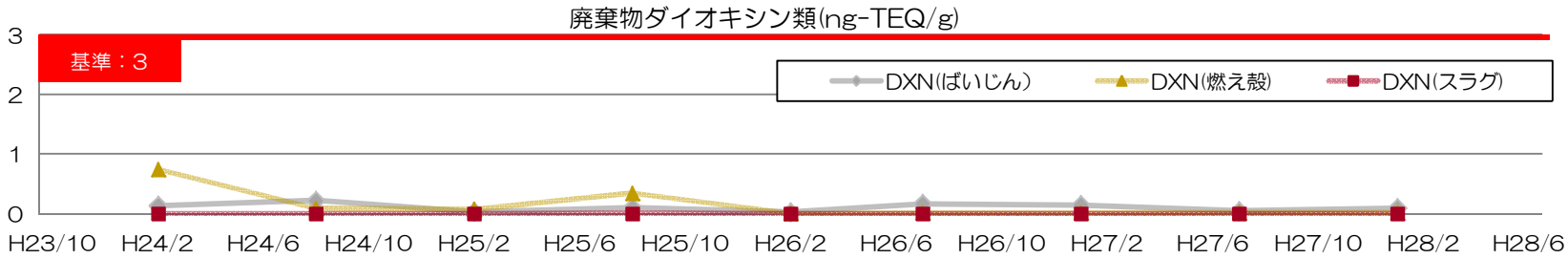
4 その他

（1）発生源モニタリング（ダイオキシン）

- 環境保全協定に基づき、排ガス、排水、廃棄物のダイオキシン類測定を実施。
- 何れの測定項目も協定の基準値を十分に下回っており、微量PCB汚染絶縁油の処理が的確に行われていることを確認。

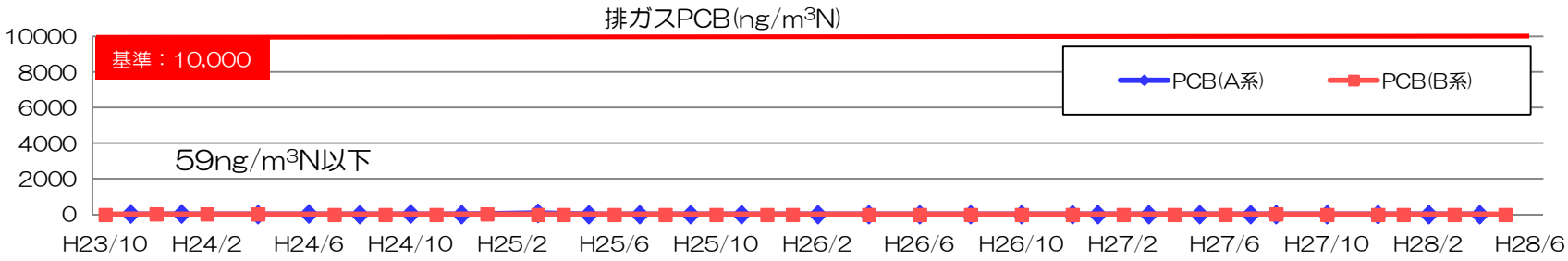


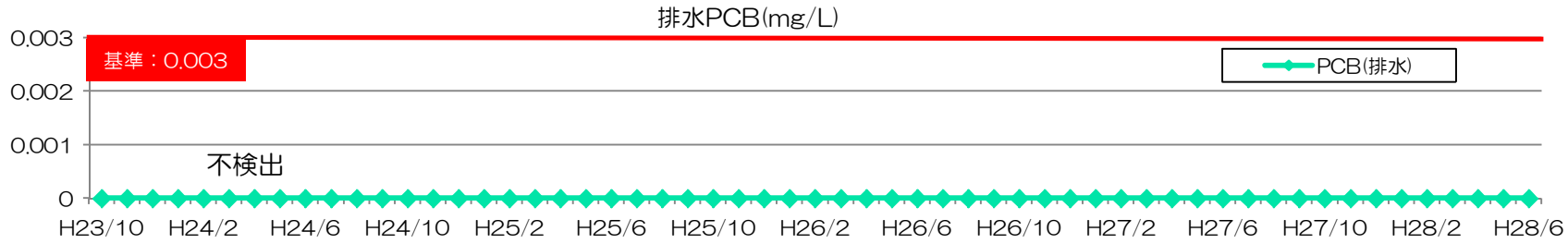


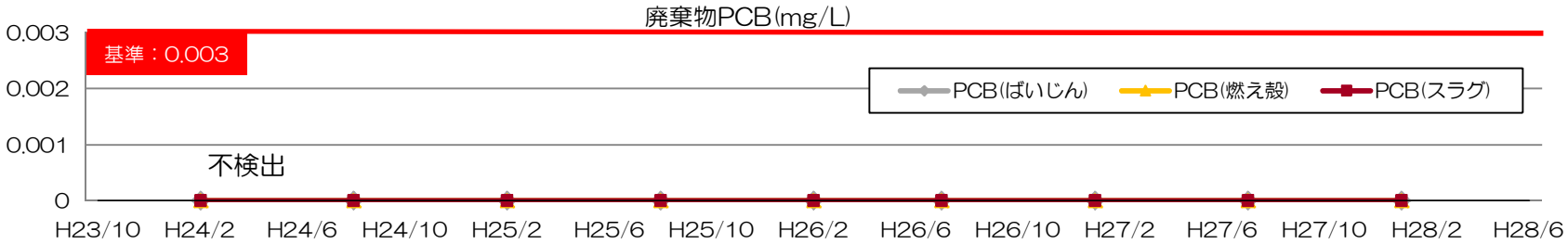


（1）発生源モニタリング（PCB）

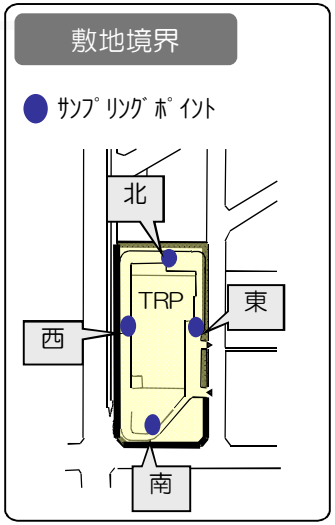
- 環境保全協定に基づき、排ガス、排水、廃棄物のPCB測定を実施。
- 何れの測定項目も協定の基準値を十分に下回っており、微量PCB汚染絶縁油の処理が的確に行われていることを確認。







（2）敷地境界大気



- ◆ ＰＣＢ、ダイオキシン類濃度は全ての測定値で基準値を満足。
- ◆ 平成28年度より測定頻度を年3回に変更（次回は9月予定）。

		測定月				年平均	基準値	測定頻度
		H27／8	H27／11	H28／2	H28／5			
ＰＣＢ (ng/m^3)	東	0.240	0.140	0.140	0.290	0.203	500	4回／年 ↓ 3回／年
	西	0.290	0.220	0.140	0.310	0.240		
	南	0.300	0.081	0.130	0.260	0.193		
	北	0.410	0.290	0.150	0.470	0.330		
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m^3)	東	0.025	0.016	0.050	0.029	0.030	年平均 0.6	4回／年 ↓ 3回／年
	西	0.037	0.085	0.034	0.055	0.053		
	南	0.040	0.020	0.029	0.032	0.030		
	北	0.054	0.033	0.050	0.067	0.051		

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

（１）社内教育

◆ 社員（経営層、協力会社含む）の関係法令に関する理解度の向上、安全意識の高揚等を目的に定期的な教育を実施。

前回（第11回）の地域環境委員会以降の社内研修実績

実 施 日・頻度	内　　容	対　象
毎月1回	関係法令等の勉強会を実施 廃棄物処理法、大気汚染防止法、環境確保条例等	経営層 管理職
随　時	入社時、新規入所時の安全・ダイオキシン・ＰＣＢ教育	新入社員 協力会社
平成28年2月24日	安全教育（関連グループ災害事例検討会）	協力会社
平成28年4月1日	安全教育（入槽作業に関する安全対策の徹底）	メンテナンスG
平成28年4月25日～28日	グループ研修（災害振り返り、維持管理基準順守など）	運転G・当直
平成28年4月26日	安全教育（防塵マスク着用ルールの徹底）	メンテナンスG 協力会社
平成28年5月16日	安全教育（電動工具の取扱、保管物の転倒防止対策）	メンテナンスG 協力会社
平成28年5月23日～26日・6月7日	安全教育（熱中症予防、高圧ガス保安）	運転G・当直 協力会社

※平成28年6月末日現在

（２）訓練（緊急時対応訓練）

◆ 微量PCB汚染絶縁油の漏洩等、緊急事態を想定した対応訓練を年2回実施。

【平成２８年７月５日】『微量ＰＣＢ汚染絶縁油漏洩発生』緊急時対応訓練

◆油受入ポンプ室内での微量ＰＣＢ汚染絶縁油の漏洩を想定。
◆当直運転員の初動対応、漏洩回収作業及び行政への通報等の訓練を公設消防と連携して実施。

漏洩発生箇所(ｽﾄﾚｰﾅｰﾄﾞ ﾚﾝ弁)

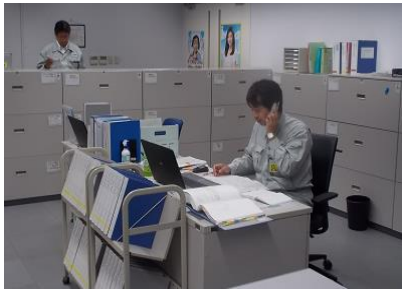
非常対策本部の設置

公設消防への状況報告

拡散防止対策の実施

漏油箇所の隔離操作

油ポンプ室内全ポンプ電源断



行政通報訓練

消火器操法訓練

※次は平成２８年下半期に第２回訓練を実施予定。

（3）災害等発生状況（１／３）

◆ 微量PCB汚染絶縁油処理に関する労働災害の発生はなし。

◆ TRPにおける労働災害は前回委員会（第11回）以降発生２件。

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
労働災害発生件数	5	4	0	4	0	2

※平成28年6月末日現在

（3）災害等発生状況（2／3）

H28年度災害発生状況(社員災害)

災害発生日時：平成28年4月11日（月）22：30頃

場所：不燃物ピット室内

被災者：社員２４歳（男性）経験年数２年　右手親指打撲（不休）

発生状況：運転中の不燃物移送経路内で閉塞が発生したため、詰まりの解除作業を実施していた際に、上流から流れてきた固形物が右手に接触、内出血がみられた。（治療行為なし）

要因

- ✓ 中央操作室に連絡なしに、予定外での解除作業を実施。
- ✓ シュートへの不燃物流入停止処置をしないまま、作業を実施。
- ✓ 詰まり解除用の治具があったが使用せず、解除作業を実施してしまった。

対策

- ✓ 予定外作業の危険性及び禁止を運転員全員に再教育実施。
- ✓ 安全な作業環境設定（今回の場合は、不燃物流入を停止してから）を再徹底。
- ✓ 他の類似箇所を洗い出し、作業時の注意喚起を現場掲示。

（3）災害等発生状況（３／３）

H２８年度災害発生状況(請負災害)

発生日時：平成28年6月18日（土）14：00頃

場所　　：産廃炉B系６FLフロア

被災者　：委託先社員22歳（男性）経験年数３カ月

症状　　：熱中症（レベル１）　不休

発生状況：産廃炉B系の定期検査工事にて、被災者は重量物（耐火材）運搬業務に従事していた。朝から作業を開始し11時頃に体調不良を本人は自覚していたが、そのまま作業を継続し、13時30分に更に悪化したことを責任者に報告、救急車にて病院に搬送した。（治療行為なし）

要因

- ✓ 今夏初めて30℃以上の真夏日で暑熱への順化が進んでいなかった。（最高気温31.4℃）
- ✓ 共同作業者および責任者が体調不良に気づくのが遅れた。

対策

- ✓ 社員、請負先の管理者に、体調チェックをきめ細かく行うよう指示。
- ✓ 脱水症状を防ぐため、作業場のより近くで水分補給が出来るように改善。
- ✓ 社員、請負先を含めて、熱中症の理解を深める目的で、再教育を実施。

（4）設備不具合

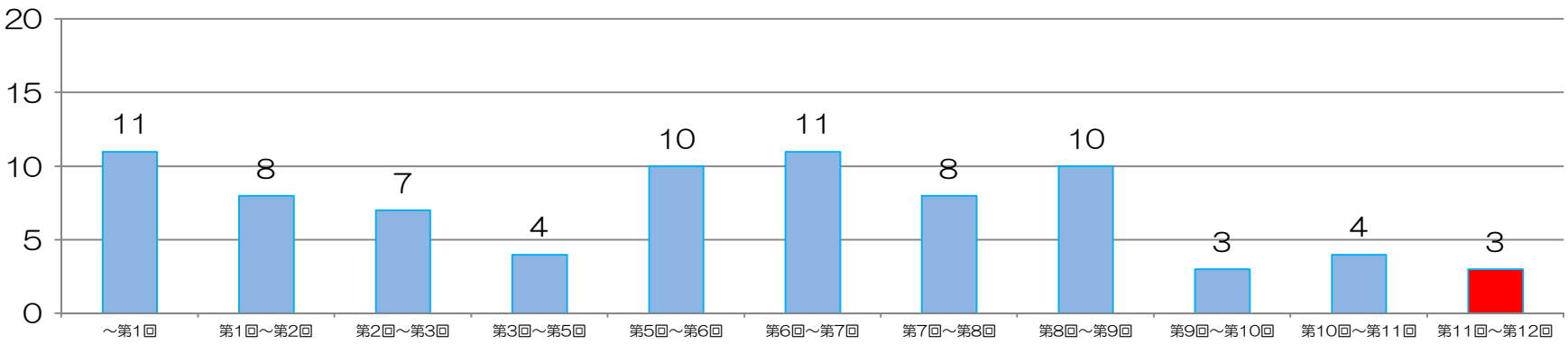
◆ 前回（第11回）の地域環境委員会以降、微量PCB汚染絶縁油焼却に伴う設備不具合はなし。
◆ 微量PCB設備について、日常点検並びに定期点検（１回/年）を実施。

産業廃棄物焼却炉の微量PCB汚染絶縁油焼却に伴う設備不具合発生件数

期間	～第1回	第1回～第2回	第2回～第3回	第3回～第5回	第5回～第6回	第6回～第7回	第7回～第8回	第8回～第9回	第9回～第10回	第10回～第11回	第11回～第12回
発生件数	0	0	0	0	0	1※1	0	0	0	0	0

※1　平成25年12月19日　油サービスタンクからの滲み発生。（第7回委員会にて報告）

【参考】産業廃棄物焼却炉のトラブルによる設備停止回数



注）第4回は臨時開催のため除外

議事

1 微量ＰＣＢ汚染絶縁油の処理状況

2 環境モニタリング状況

3 安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4 その他

協定改定について

東京臨海リサイクルパワー株式会社による微量ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性の確保と環境保全に関する協定書

（平成２３年６月２９日締結）

↓

平成28年4月1日
上記協定書の一部を改正する協定書を締結

変更内容

- ✓ 東京電力株式会社→東京電力フュエル＆パワー株式会社
- ✓ 排ガス中PCB・ダイオキシン類測定　３箇月毎→４箇月毎
- ✓ 敷地境界大気中PCB・ダイオキシン類測定
  １年に４回→１年に３回